原子核の変形は「自発的対称性の破れ」の分かりやすい具体例で
ある。 素粒子論ではそれは現象論的に仮定されることが多いが、
凝縮系や原子核では「対称性が破れるダイナミカルなメカニズム」に
深く立ち入って実験的に調べることができる。
特に原子核には自己束縛系に特有な面白さがある。
これを理解することは核構造研究の醍醐味といえよう。
この講義では「変形シェル構造の形成」をキーワードとして
原子核が変形する一般的な法則性と Mg32 領域の不安定核に
特有な 性質の絡み合いについて議論したい。
Jahn-Teller effect との類似性と異質性にも触れる。